

マツ枯れ予防の費用対効果

毎年1月はマツ枯れを特集していますが、今回は今一度、マツ枯れ予防の重要性を訴えたいと思います。

医療の世界では、昔にくらべて予防医学の重要性が広く知られるようになりました。予防医学とは、病気にかかってから治すのではなく、病気になるように気をつけて行動し、病気を予防するというものです。同じことが植物の病気にもいえます。特に、マツ枯れ（マツ材線虫病）は、一度かかるともう治療法はない 恐ろしい病気のため、予防が大切です。

マツ枯れ予防として最も有効であると考えられるのは、マツノザイセンチュウに対する殺虫効果のある樹幹注入剤の施工です。マツノマダラカミキリに対する防除（薬剤散布）は、時期や場所を失すればどんなに上手に散布しても効果が得られませんが、樹幹注入剤は正しく施工しておけば、最長7年間（グリーンガード・NEOの場合）、マツを守ってくれます。

少し考えてみてください。樹幹注入を行う場合、直径50cmのマツであればグリーンガードは8本程度必要です。特殊な事情（とんでもない山奥のマツといった立地条件等）がない限り、施工料も入れてマツ1本あたり数万円程度です

（※施工の際は一度見積られることをおすすめします）。ここで、もし樹幹注入を行わずにマツがマツ枯れで枯れてしまった場合を考えてみてください。マツ枯れしたマツはマツノザイセンチュウとマツノマダラカミキリにとって絶好の繁殖地であり、放置しておくとし翌年にはそこからマツノザイセンチュウをたくさん体に潜ませたマツノマダラカミキリが、ご近所のマツめがけて飛んでいくことになります。近くに重要なマツがあったら大変です。

マツ枯れの拡大を防ぐためには、翌年マツノマダラカミキリが脱出していく前に（春頃までに）マツを伐採して焼却処分もしくはチップ化（もしくは燻蒸処理やシート被覆等）する必要があります。マツの伐採は自分でできるでしょうか？伐採にクレーンが必要になった場合、クレーンの足場が必要になりますが、家の敷地内にクレーンを入れるでしょうか？入れない場合は、クレーンを道路に駐めることになりませんが、狭い道路では、道路を通行止めにしなければならないかもしれません。また、マツと建物の位置関係によっては、クレーンでは対応できないこともあります。さらに、ある程度の大きさの丸太を処分するときは、処分費がかかることがあります。加えて、枯れたマツの代わりに新しいマツを植える場合は、小さな苗木を植えるか、ある程度の大きさのマツを植えるかのどちらかですが、苗木から育てる場合は当然大きくなるのに時間がかかります。一方、大きなマツを移植する場合は、移植作業が大掛かりになるとともに、無事に定着する確率も小さな個体の場合より低くなります。

何よりも、長年大事にしていたマツが枯れてしまうのは、忍びないものです。

マツが枯れて伐採・運搬・処分・移植等が必要になった場合を考えると、個人的に（もちろんサカエグリーンとしても）、グリーンガードを施工してマツ枯れを予防することを強くおすすめします。グリーンガードシリーズで、あなたの大切なマツを守りましょう。

A HAPPY NEW YEAR!



ばいじゃこさん
一応ネコ科ということで・・・

製品紹介

グリーンガード・NEO

7年の効果持続期間



- 樹幹注入材の中でもトップシェアの実績を誇る「グリーンガード」シリーズ
- 「グリーンガード・NEO」は、従来品「グリーンガード」「グリーンガード・エイト」よりもコンパクトで、また寒冷地でも問題なく施工できます。
- 樹体に直接注入するので、ドリフト（飛散）などの心配がありません。
- 一度施工すると予防効果は7年間持続します。

- 内容成分：酒石酸モランテル 20%
- 毒性：普通物
- 包装：90ml/本、50本入り/ケース

作物名	適用害虫名	使用時期
マツ	マツノザイセンチュウ	マツノマダラカミキリ 成虫発生3ヶ月前まで

使用量	
胸高直径（樹幹部）	薬量
10～15cm	90ml
15～20cm	135ml
20～25cm	180～270ml
25～30cm	270～360ml
30～35cm	360～450ml
35～40cm	450～540ml

※病気などで弱っている松へのグリーンガードの施工は不適です。

※すでにマツ材線虫病に罹患しているマツには、施工しないでください。

※剪定されている庭園のマツに対しては、通常の使用量の6割程度で施工してください（薬害の恐れ）。

※剪定されている庭園のマツには、グリーンガード・エイトがおすすめです（予防効果6年間持続）。

※40cm以上は5cm増すごとに
0.5～1.5アンプルを順次増量

ネマバスター

マツを傷つけずにマツノザイセンチュウを防除



- マツの周りに土壌灌注処理する薬剤で、マツを傷つけずにマツノザイセンチュウを防除できます。
- 浸透移行性にすぐれ、有効成分は根系から樹体内に速やかに吸収移行し、マツノザイセンチュウの運動を阻害、増殖を阻止します。
- 樹幹注入剤ではないので、マツの樹脂量に左右されずに処理ができます。
- 庭園松等の、強く剪定されたマツに対しても使用できます。
- 効果の持続期間は、現在のところ1年まで確認しています。

- 内容成分：ホスチアゼート（PRTR・1種）30.0%
- 毒性：劇物
- 包装：1L/本、4本入り/ケース

作物名	適用害虫名	使用時期	希釈倍数	使用液量	使用方法
マツ	マツノザイセンチュウ	マツノマダラカミキリ 成虫発生2～3ヶ月前まで	50倍	樹の胸高直径に応じて 5～1cm 6L 10～15cm 8L 15～20cm 12L 20～25cm 18L 25～30cm 26L 30～35cm 38L 35～40cm 52L 40cm以上では直径5cm 増すごとに18～30Lを順 次増量	土壌灌注
せんりょう	ネグサレ センチュウ	生育期	1000倍	0.5L/株 (ただし2.5L/m ² まで)	株元灌注
樹木類		移植前		—	10分間 根部浸漬

取扱い・お問合せは—